

# エンジニアリングシンポジウム2019 お申し込み方法

当協会のWEBサイトからお申し込みください。

<https://www.ena.or.jp/seminar/39563>

WEBサイトの受付登録画面は個人受付専用となっております。

企業・団体の皆様は複数一括のお申し込みをされる場合は、WEBサイトから「複数申し込み用紙」をダウンロードし、E-mailにてシンポジウム事務局 (sympo-admin@ena.or.jp) までお申し込みください。



大学生・大学院生の皆様はWEBサイト内「学生キャリア支援」からお申し込みください。

[https://www.ena.or.jp/seminar\\_etc/39565](https://www.ena.or.jp/seminar_etc/39565)

申込み先着順で限定50名様を無料でご招待いたします。交通費は各自でご負担ください。  
なお、講演会後の交流会へのご参加はご遠慮ください。

学生  
キャリア  
支援



**【お申し込み締切】2019年10月15日(火) 17:00**

**学生参加無料(限定50名)**

**参加費(シンポジウム&交流会 消費税別) 9,000円**

請求書を10月に郵送しますので、指定口座にお振込みください。  
お振込みいただいた参加費はご返金できませんので、予めご了承ください。

各種認定ポイントが  
取得できます

終日参加の場合、発給ポイントは以下のとおりです。

CPU:5.5ポイント

PDU:5.5PDU

シンポジウム当日、3階総合受付にて証明書を発行致します。

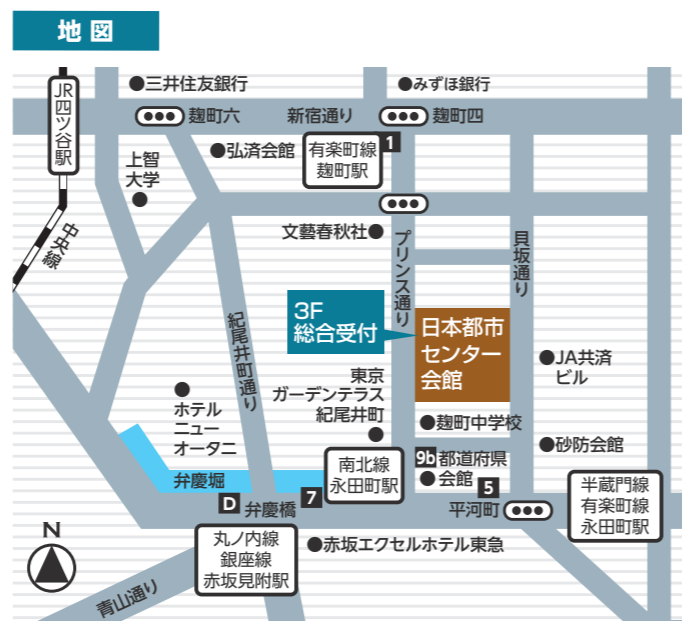
## 会場のご案内

### 日本都市センター会館

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1  
Tel:03-3265-8211

#### 交通アクセス

地下鉄	有楽町線	麹町駅半蔵門方面 1番出口より徒歩4分
	有楽町線	永田町駅 9b番出口より徒歩3分
	半蔵門線	5番出口より徒歩4分
	南北線	
	銀座線	赤坂見附駅 7番出口より徒歩7分
JR	丸ノ内線	赤坂見附駅 7番出口より徒歩7分
	中央線	四ツ谷駅 麹町出口より徒歩17分
都バス	平河町2丁目「都市センター前」下車 (新橋駅～市ヶ谷駅～小滝橋車庫前)	
首都高速	霞が関出口より 5分	



**総合受付は3階です。ご入用の方には講演資料集をお渡し致します。**

お問い合わせ先

一般財団法人エンジニアリング協会

### エンジニアリングシンポジウム事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 (虎ノ門マリンビル10階)

TEL: 03-5405-7201 (代表) FAX: 03-5405-8201

E-mail: sympo-admin@ena.or.jp

ENAA 一般財団法人  
エンジニアリング協会



# エンジニアリング シンポジウム 2019

## What will happen?

～デジタル革命時代の豊かな社会創りへの挑戦～

**2019年10月18日(金) 日本都市センター会館**

#### 招待講演

黒船に備える：  
データがもたらす令和維新、その先へ

**富田 達夫**

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA) 理事長

#### 特別講演

ヒトの進化史と技術の発展

**長谷川 真理子**

国立大学法人 総合研究大学院大学 学長

主催：一般財団法人エンジニアリング協会

後援：経済産業省

協賛：独立行政法人国際協力機構 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 独立行政法人日本貿易振興機構 株式会社国際協力銀行 株式会社日本貿易保険  
国立研究開発法人産業技術総合研究所 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 国立大学法人名古屋工業大学産学官金連携機構  
公立大学法人産業技術大学院大学 一般財団法人日本エネルギー経済研究所 一般財団法人海外投融資情報財団 一般財団法人企業活力研究所  
特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会 (順不同)

**学生参加無料**

各講演に無料で  
ご参加いただけます。  
(交流会除く)



# What will happen?

～デジタル革命時代の豊かな社会創りへの挑戦～

午前の部(開場9:00)

敬称略

## エネルギー・環境 A会場(3F コスモスI)

9:30~10:50 **A-1**

### SDGsとパリ協定が動かす21世紀

末吉 竹二郎

国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI) 特別顧問  
公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン(WWF Japan) 会長



地球環境と人類社会が様々な意味で危機的状況を迎える中で、国際社会はそれらの問題解決を目指して、SDGsとパリ協定を柱に動き始めました。持続可能な社会を目指した新しい国際競争の始まりです。その最新動向を追います。

11:10~12:30 **A-2**

### スマートエネルギーシステムへの期待

浅野 浩志

一般財団法人 電力中央研究所  
エネルギーイノベーション創発センター 研究参事 工学博士  
国立大学法人 東京大学大学院 客員教授/国立大学法人 東京工業大学 特任教授



急速に進展するデジタル化を背景に情報通信、運輸などとエネルギーセクターの融合が展開し、人間中心の社会、すなわちSociety5.0が政府により推進されています。内閣府を中心に、異分野間のデータ連携を通じて、太陽光発電など再生可能エネルギーの利用と車両の電動化を後押しする、セクターカップリングへの取組みが内外で注目されています。本講演で、高齢化社会の課題であるモビリティの確保と、エネルギーシステムの脱炭素化に貢献するSystem of systemsとしてのV2X(車載蓄電池の充放電利用)を例に、スマートエネルギーシステムの未来像を探ります。

## 技術・イノベーション B会場(3F コスモスII)

9:30~10:50 **B-1**

### YAMAL LNG PJ

一過酷な条件下における大型・短納期PJの成功要因

川北 誠

日揮 株式会社  
ヤマルLNGプロジェクト PD  
(写真左)



藤原 英高

千代田化工建設 株式会社  
ヤマルLNGプロジェクト PD  
(写真右)

気温がマイナス50度を下回る過酷な気象条件下のロシア連邦ヤマル半島において、Module工法の適用により年産550万トンの大型LNGプラントを過去の実績工期70-80か月に対し57か月という短期間で第1系列からの製品出荷を達成することができました。ロシア連邦の発展、日露親交への寄与はもちろんの事、世界全体のクリーンエネルギー安定供給の観点で世界中から高い注目を浴びる中で完工したヤマルLNGプロジェクトでの、徹底したリスク管理、顧客とJVプロジェクトチームの強力なリーダーシップによる遂行管理、永久凍土保全対策/北極海東回り航路開拓へのチャレンジの達成等の成功要因を紹介します。

11:10~12:30 **B-2**

### 「地下空間の魅力と今後の可能性」

～快適なまちづくりに資する地上と地下空間の利活用と価値創造～

大森 高樹

株式会社 日建設シビル  
エンジニアリング部門 CM防災部 部長



日本の地下空間は、都市における重要な歩行者ネットワークを形成し、地下街や地下広場そして接続ビルなどが複数の箇所につながっています。また、大規模地震発生時や浸水時における安心な避難空間の役割も兼用し、建築基準法・消防法・水防法など複数の法律に基づき個々に安全対策が講じられてきました。一方、都市の再構築の一環で老朽化した地下空間のリニューアルが進められ、地上と地下の一体化に伴う利活用が図られ、価値創造による快適なまちづくりが実現しています。このような背景のもと、地下空間の魅力と今後の可能性について事例を示しながら、参加者の皆様と意見交換していきたいと考えます。

## ひととAI・ひとづくり C会場(5F オリオン)

9:30~10:50 **C-1**

### 日本の伝統を次世代につなぐ

～人間にしかできない価値とは何か～

矢島 里佳

株式会社 和える 代表取締役



ロボットやAIと共生する未来を見据えた時、人間にしか生み出すことができない価値とは何か。そのヒントは、日本全国の職人が受け継いできた伝統にありました。21歳の時に創業した「和える」は、日本に生まれた子どもたちが、幼少期から日本の伝統に出逢うことができる環境を創出するために誕生しました。主要事業の「0歳からの伝統ブランドaeru」は、日本各地の職人とともにオリジナルの日用品を届けることで、次世代を担う子どもたちの感性を育む取り組みです。職人や子どもたちとの関わりを通して見えてきた、これからの時代の生き方や仕事のあり方についてお伝えします。

11:10~12:30 **C-2**

### 激動のAI時代に生き残るための

### テクノロジー俯瞰力

～「シンギュラリティの嘘」と「失われた世代」の逆襲～

齋藤 和紀

エクスポネンシャル・ジャパン 株式会社 代表取締役



変化のスピードは劇的に速くなっています。そして、シンギュラリティとは何でしょうか? 世界を席巻する最先端企業が見据える事業戦略には一貫して「テクノロジーやビジネスは人間の直観に反して指数関数的(=エクスポネンシャル)に成長する」という考え方があります。人も企業も「今までの常識」が全く通用しない時代ですが、かつてなくテクノロジーの進化が加速する「激動の時代」は、裏を返せば「かつてない大きなチャンスが転がっている時代」です。このような時代に、企業と人はいかに生き抜くべきか、をわかりやすく読み解きます。

午後の部(開場13:30)

敬称略

## 協会挨拶 3F コスモスホール

13:50~14:00 永松 治夫

一般財団法人 エンジニアリング協会 理事長(東洋エンジニアリング 株式会社 代表取締役 取締役社長)

## 招待講演 3F コスモスホール

14:00~15:30

### 黒船に備える： データがもたらす令和維新、その先へ

富田 達夫

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA) 理事長

サイバーセキュリティをめぐる国家間の争いや、日本の未来を拓くキーワードとしての「AI」「DX」が、日々メディアに取り上げられています。しかし「データの価値とは」「AIやDXで何が変わるのか」という問いに、自分なりの答えをお持ちの方がどれだけいらっしゃるでしょうか。その一方で、「デジタル化の波に乗り遅れては」という危機感と、「何をどこから始めれば」「もし失敗したら」という懸念の板挟みになっておられる方も多いでしょう。人間がテクノロジーに翻弄される危うさが潜む時代を生きる、私たち。そこで求められる知恵と力について、お話ししたいと思います。



## 特別講演 3F コスモスホール

15:50~17:20

### ヒトの進化史と技術の発展

長谷川 真理子

国立大学法人 総合研究大学院大学 学長

チンパンジーなどの類人猿の仲間から人類の系統が分かれたのは、およそ600万年前のことです。人類とは常習的に直立二足歩行する類人猿の仲間ですが、およそ20~30万年前に、私たち自身であるホモ・サピエンスが進化しました。この進化史全体を考えると、画期的な技術の発展はおよそ4万年前に始まり、およそ1万年前にそれが加速されるようになり、今や、数十年で大規模な変化が起こる指数関数的変化の時代に入りました。とくに、昨今のAI技術は、これまでの肉体的能力の延長を補佐する技術とは異なり、ヒトの脳機能そのものに食い込んでいます。この流れの意味を、進化的に概観します。



## 交流会 5F オリオン

17:30~19:00

講演終了後に参加者相互の交流と懇親の場を設けております。

お飲み物・軽食等もご用意しておりますので、参加者による情報や意見交換、ネットワークづくりなどにご活用いただければ幸いです。